

3月19日(火)は、卒業式でした。6年生45名全員が参加し、卒業証書授与、呼びかけ、合唱を行いました。今年度は、4年生、5年生も卒業式に参加し、呼びかけ、合唱で6年生を見送りました。式終了後、4年生、5年生、教職員が見送る中、6年生は、笑顔で幕張南小学校を巣立ちました。

(校長式辞)

卒業生の皆さんとの思い出は、数々あります。皆さんは、移動教室、農山村留学。一つ一つを真剣に取り組み、成功させてきました。その中でも印象深いのは、運動会です。

リーダーとして運動会を進行し、学校を一つにまとめました。そして、これから、親子競技だ。という時に、突然の雨雲。大雨が降ってきました。「私、子供と手をつなげる最後の機会かもしれない」と話されていたお母さんの顔が頭をよぎりました。保護者の皆様に、体育館に移動していただき、急遽1組対2組の親子じゃんけん大会になりました。突然の取り組みにもかかわらず、親子で楽しそうに肩を組み、笑顔で競技する姿。学校のリーダーとして活躍する6年生が、また別のリラックスした笑顔を浮かべる姿が心に深く残っています。予定していた親子競技とはなりませんでしたが、この体育館が親子の温かい雰囲気にも包まれていました。そして卒業生の皆さんは、家族に大切に育てられてきたのだなど、改めて思いました。

卒業生のみなさん、あなたのことを大切に思い、一番に考えてくれているのは、家族だということを忘れないでいてください。

では学校は、何をやる所でしょう。学校は、友人や先生と共に学習や行事等を行う中で、家庭の中だけではできない、様々な気づき、学びを与えてくれる場所だと私は思います。あなた達は、六年間の小学校生活を通して、話をしっかりと聞き、理解し、粘り強く取り組む力を一人一人が身に着けました。皆さんと関わった先生方、誰もが、共に行った学びは楽しく、充実したものであったと話しています。そして、つらい立場の人の痛みを理解し、対応できる優しさ、心遣いがありました。立派な卒業生に育ったあなた達は、下

級生のよき手本であり、ここにいる教職員の誇りです。教職員を代表して、素敵な卒業生に育った皆さんに改めてお礼を言いたいです。

ありがとうございました。

イギリスの劇作家オルコットの言葉に「雲の向こうはいつも青空」があります。雲は、どんよりとして悪い状態、そして青空は、晴れ渡ってうまくいった状態を指した例えでしょう。これを人生に置き換えてみると、「何もかもがうまくいかない」と思っている、向こう側には必ず光が待っている。暗雲が立ち込めていても、希望を捨てずに乗り切ろうとすれば、「うまくいく」ということです。皆さんの中にも小学校時代、様々なことがあったと思います。でも一つ一つを乗り越え、今日があります。人の心の中にある雲は、時が解決してくれるものもあれば、雲を取り除くように自分で動かなければいけない時もあります。しかし、雲の向こうには、必ず、青空が待っています。自分を信じ、未来を信じ、力強く歩いてください。

保護者の皆様、この六年間、至らなかったことも多々あると思います。その中でご理解、ご協力いただいた事に心より感謝申し上げます。

地域の皆様、幕張南小学校を常に温かく見守ってくださり、ありがとうございました。皆様の温かいご支援のお陰で六年生は無事に巣立っていきます。

さようなら六年生。あなた達のより良き人生を願い、式辞と致します。